

平成23年度予算の概要



公立大学法人奈良県立医科大学



奈良県立医科大学の理念

(平成6年3月8日制定、平成17年12月13日一部改正)

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

奈良県立医科大学の目的

(平成6年3月8日制定、平成17年12月13日一部改正)

- 1 学部教育では、医学および看護学に関する基本的知識・技能および生命倫理・医の倫理を習得させるとともに、将来、臨床・研究・教育のいずれの分野でも活躍できる独創性、応用力と豊かな人間性を身につけた人材を育成する。
- 2 研究面では、医学、看護学およびこれらに関連する独創的、先端的研究を学際的、国際的に推進することを主眼とし、大学院では、研究・教育・臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図るとともに各専門分野の高度の研究を推進する。
- 3 附属病院は、生涯に亘る臨床教育・研修の場であると同時に、奈良県のみならず我が国における指導的役割を果す医療機関として、新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的高度医療を担当する。

目次

平成23年度予算総括表	
1. 平成23年度予算(全体)	1
2. 平成23年度部門別予算(大学)	2
3. 平成23年度部門別予算(附属病院)	3
平成23年度組織の整備	4
平成23年度予算の主要事業・新規事業	5
平成23年度予算の概要	
法人共通部門	
法人共通予算の概要	7
1. 法人の将来を見据えた投資	7
2. 法人組織の円滑な運営	
1. 法人職員の採用	8
2. 職員の資質向上	8
3. 学生・職員の福利厚生	9
4. その他の経費	9
3. 地域社会との連携	
1. 法人から地域社会への情報発信	10
大学部門	
教育・研究関係予算の概要	12
1. 教育内容の充実	
1. 人間性豊かな医療人の育成	12
2. 看護学科大学院開設など看護教育充実への対応	13
3. 地域医療に貢献する医療人の育成	13
4. その他教育の運営に関する経費	13
2. 研究実施体制の整備	
1. 産学官連携の推進	14
2. 研究に必要な資金の確保	14
3. 研究者への支援	15
4. 寄附講座の設置	15
5. その他の研究関係費	15
3. 世界に通用する大学を目指して	
1. 国際交流	16
2. 国内大学との連携	16
4. 大学施設・設備の保全	
1. 老朽化した施設の改修	17
2. 大学施設管理経費	17
附属病院部門	
診療関係予算の概要	19
1. 附属病院の概要	19
2. 安全で質の高い先進の医療を提供	
1. 高度で先進的な医療の提供	20
2. 医療提供体制の充実	21
3. その他の経費	21
3. 奈良県の中核病院としての機能強化	
1. 地域医療を支える医師の養成	22
2. 地域医療連携の充実	22
4. 患者から信頼される病院の運営	
1. 病院運営に必要な経費	23
2. 診療報酬確保に向けた取組	24
5. 病院施設の整備	24

組織の整備

組織の新設

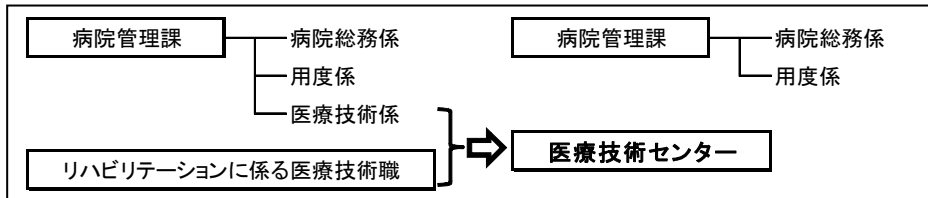
1. 「健康管理センター」の新設
・学生及び職員の健康管理を一括して推進
2. 「監査室」の新設
・内部監査機能の充実
3. 「産学官連携推進センター」の新設
・全学的、横断的な産官学連携の推進体制を整備
4. 「女性研究者支援センター」の新設(※平成23年2月1日付)
・優れた女性研究者の育成を図り研究や教育活動を一層活性化

組織の再編

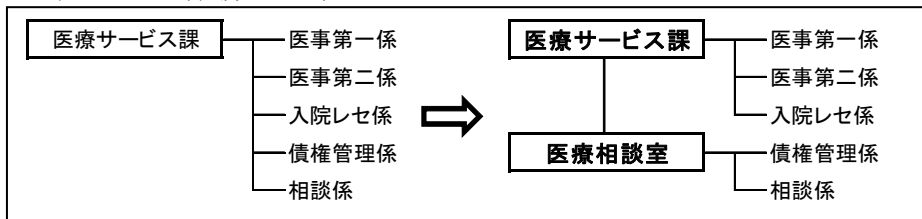
1. 法人企画業務への対応強化
・次期中期計画策定の重点推進、法人ホームページのリニューアル、保育所の整備 等



2. 「医療技術センター」の設置
・現在の病院管理課医療技術係とリハビリテーションに係る医療技術職を統合し、専門部門化



3. 医療サービス課の再編(「医療サービス課」「医療相談室(課内室)」の設置)
・増加する患者サービス業務への対応



医療スタッフの充実

・チーム医療推進のため、医療技術職部門を専門部門化するとともに、必要なスタッフを積極的に採用

1. 看護師100名規模の採用(4月1日付)、年度内随時採用の継続
2. ME(臨床工学技士)を9名採用(25名体制)
3. リハビリ部門職員を4名採用するほか、医療技術職を21名増員(非正規からの振替含む)

教育研究の充実に向けて

○ 教育環境の充実

・**医学科** 56,505千円(85,445千円)
医学科定員増や老朽化備品の更新など教育環境の充実に必要な経費を引き続き計上

・**看護学科** 17,736千円(16,589千円)
新カリキュラム対応など看護学科の教育環境の充実に必要な経費を引き続き計上

新 **看護学科大学院修士課程開設準備** 23,000千円
H24年度看護学科大学院修士課程設置をめざし、施設設備などの整備に必要な経費を計上

新 **授業料減免制度の導入** 12,056千円
経済的に困窮した学生を支援するため、授業料減免制度を導入(運営費交付金で財源措置)

新 **早稲田大学連携推進事業** 2,000千円
理工学系、人文系の技術や知識を取り入れ本学のレベルアップを図るため、早稲田大学との連携を推進するための経費を計上

新 **地域医療教育推進事業** 4,390千円
県内で地域医療に従事しようとする医師を確保するため、県からの補助金を財源にメンター実習等を推進

○ **地域医療学講座事業** 75,000千円(80,000千円)
県からの交付金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置

新 **大学ホームページ再構築事業** 10,000千円
法人の情報ネットワークにかかる環境を改善するため、大学ホームページや教務事務システム等に関する検討を行い、一部再構築

○ **産学官連携の推進** 17,898千円(10,117千円)
産学官連携推進センターを設置し、産学官連携に積極的に取り組む

○ **医学科講座研究費** 212,679千円(166,359千円)
前年度からの繰越分を含む

○ **看護学科教員研究費** 15,456千円(11,107千円)
前年度からの繰越分を含む

組織の整備

- ① 女性研究者支援センターの設置
- ② 産学官連携推進センターの設置

◆平成23年度予算の主要事業・新規事業

医師・看護師の確保、職員の資質向上等

新 **院内保育所整備** 99,000千円
法人職員(医師、看護師等)の保育ニーズに対応するため、老朽化した「なかよし保育園」の建替整備を行い、定員や夜間保育等の拡充を図る

○ **看護師等の確保対策** 52,456千円(39,098千円)
看護学校訪問や看護職員専用宿舎の確保など、看護師確保に向けた取組を継続

○ **職員研修の充実** 19,126千円(15,008千円)
認定看護師資格取得や学会派遣など高い専門性を有した職員を育成するため、積極的に研修・学会等へ派遣するとともに、内部研修を充実

新 **健康管理の充実** 17,557千円
学生及び教職員の健康診断等を一元的に管理する健康管理センターを設置

○ **ホルムアルデヒド対策** 71,172千円(13,246千円)
病院病理部の設備改善及び測定委託経費を計上

新 **臨床研修医の処遇改善**
新たに住居手当、通勤手当を支給

組織の整備

- ① 次期中期計画の検討など法人企画業務への対応強化(総務課総務係→総務企画係)
- ② 監査室の設置
- ③ 健康管理センターの設置



患者サービスの向上

○ (仮称)中央手術棟整備事業 672,892千円(628,000千円)
中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実を図るため、「(仮称)中央手術棟」を整備

新 **新棟整備関連アメニティ整備** 24,800千円
緑化など来院者がなごむような病院内の景観等を確保

○ **患者アメニティ向上事業** 34,000千円(76,000千円)
患者等が利用する病院施設等整備により、快適な空間づくり、院内環境の改善等、アメニティ向上を図る

○ **地域医療連携事業** 2,131千円(2,190千円)
初診紹介患者予約診療の実施、地域医療連携パスの実施、放射線画像支援の実施など

新 **患者満足度調査の実施** 242千円
患者に対して満足度調査を実施し、患者サービスの向上を図る(23年度は入院患者に実施予定)

病院機能の充実、経営改善の推進

○ 「7:1」看護体制の継続
特定機能病院にふさわしい看護体制を実現

○ **入院係直営化推進**
入院患者の診療報酬請求直営化の推進

新 **病院経営分析事業** 10,000千円
専門業者から助言や他院情報の提供を受け、現状に即した適切な診療科別収支を作成し、病院の経営分析に活用

新 **臨床研修センター・看護師研修センター等整備** 256,700千円
看護師宿舎の内部活用などにより、看護師研修センターや臨床研修センターを整備・充実

○ **医薬・診療材料費** 11,245,559千円(10,540,043千円)

○ **医療用備品の整備** ※ 1,000,000千円(650,000千円)
県からの長期借入金やリース契約などを活用し、総額10億円の医療用備品整備枠を確保
※ 予算額はリース契約活用により 728,000千円

組織の整備

- ① 医療技術センターの設置
- ② 医療サービス課の再編

※ ()内は前年度予算額である

法 人 共 通

法人共通予算の概要

○法人の更なる発展を目指し、法人の将来を見据えた効果的な投資を積極的に行う

○法人構成員それぞれが尊重され、その個性が生かされるよう配慮し、適切な競争と協調性が共存する組織運営を行う

○法人経営の安定化のため、引き続き経営改善を推進

1. 法人の将来を見据えた投資

- ・中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実を図るため、県からの一部支援により、「(仮称)中央手術棟」を整備
- ・大学の教育部門移転については、県の動きを注視しながら移転構想の策定を進める
- ・次期中期計画策定に向け、検討をはじめ

(千円)

事業名	内容	予算額
(仮称)中央手術棟整備事業	総事業費:約100億円(予定) 工期:平成22年度～平成27年度 規模:地下1階 地上7階	672,892
(新)新棟整備関連アメニティ整備事業	来院者の快適性を高めるため、病院施設の一部を整備 緑化、玄関照明の改善、サインの統一などの設計	24,800
(新)院内保育所整備事業	法人職員の保育ニーズに対応するため、老朽化した「なかよし保育園」の建替整備を行い、定員や対象年齢、夜間保育・休日保育の拡充を図る	99,000



2. 法人組織の円滑な運営

正規職員の推移

(単位:人、百万円)

	H19	H20	H21	H22見込	H23予算
教育職	340	353	346	344	349
事務職	97	96	96	105	123
医療技術職	140	152	157	169	200
看護職	654	655	746	821	867
技能労務職	42	41	32	19	16
合計	1,273	1,297	1,377	1,458	1,555
前年度との増減数	—	24	80	81	97
人件費(退職手当除く)	9,896	10,027	10,381	10,834	11,240

※人員数については各年度4月1日現在、人件費についてはH19～H21は決算額、H22は決算見込である

1. 法人職員の採用

- ・業務量に応じた人員の配置に努め、さらに優秀な職員が確保できるよう採用方法を検討
- ・引き続き職員の積極的な採用を行うとともに、補助職員の配置などの離職防止対策、育児休業者の早期復職支援などに積極的に取り組み、「7:1」看護体制の安定稼働を図る

(千円)

事業名	内容	予算額
職員採用事業	法人職員の募集、採用試験の実施に必要な経費	3,427
看護師確保事業	県内外の学校への訪問、車内広告、附属病院説明会・見学会の開催、合同就職説明会への出展などを実施	7,200
新規採用看護師宿舎確保対策事業	新規採用者を対象に、敷地外に法人が一括してワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舎を確保	44,340

2. 職員の資質向上

- ・高い専門性を有した職員を育成するため、積極的に専門的な研修に派遣
- ・職員の資質向上、適材適所への配置及び公正な処遇を図る見地から、評価制度を導入し、評価結果に応じた昇任や賞与等への反映を検討(事務職については平成22年度導入済み)

(千円)

事業名	内容	予算額
SD研修事業	新規採用者に対する研修、医療事務研修、人権研修、評価者研修などを実施し、職員の業務遂行に必要な知識、能力を向上	2,626
看護師研修事業	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	11,000
医療技術職研修の充実	医療技術職の知識向上のため、各種研修や学会などへの派遣に必要な旅費などを増額(1,147千円→3,000千円)(その他病院運営経費の内数)	3,000
病棟クレーク等講座参加助成	診療報酬請求の精度向上のため、病院職員が参加する診療報酬関連の講座への参加費を助成(診療報酬請求強化対策事業の内数)	1,136

3. 学生・職員の福利厚生

- ・学生及び教職員の健康診断等を一元的に管理する健康管理センターを設置し、学生及び教職員の健康管理に積極的に取り組む

(千円)

事業名	内容	予算額
職員健康管理事業	健康診断、予防接種など教職員の健康管理の実施及び労働安全衛生管理体制の構築	12,448
学生厚生関係事業	学生の健康診断、予防接種などの健康管理、体育施設の維持管理、学外研修経費など、学生の福利厚生を実施	5,109
院内保育所設置者負担金	院内保育所「なかよし保育園」の運営経費(保育料でまかなえない経費を設置者として負担)	8,615
ホルムアルデヒド対策	病院病理部の切出室の拡張や空調設備強化などの対策工事及び作業環境測定委託の実施	71,172

4. その他の経費

(千円)

事業名	内容	予算額
火災保険関係費	法人の財産などを守るため、企業財産包括保険、自動車保険、運送保険、賠償責任保険などの損害保険に加入	6,301
監査法人報酬	地方独立行政法人法第35条の規定に基づき、会計監査人と契約し、会計監査を実施	11,025
長期借入金償還金	法人化後の施設整備や医療用備品の購入に当たって、県から借り入れた長期借入金の償還金	428,567
短期借入金利息	法人の資金不足に対応するために金融機関から借り入れる単年度運転資金に対する償還利息	3,708
光熱水費・燃料費	一般管理部門(大学本館、厳櫃会館、エネルギーセンターなど)の冷暖房などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	33,587
庁舎管理委託費	清掃や設備の保守点検、警備など一般管理部門の施設の管理にかかる各種委託	30,315
事務局等その他管理費	一般管理部門の施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費など	13,263

3. 地域社会との連携

法人から地域社会への情報発信

- ・広報誌、ホームページ等を通じて、法人情報を積極的に発信するとともに、地域住民などの健康教育を支援するため、公開講座や生涯教育等の学習機会を積極的に提供する

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 大学ホームページ再構築事業	法人の情報ネットワークにかかる環境を改善するため、大学ホームページや教務事務システム等に関する検討を行い、一部を再構築	10,000
(新) 附属病院紹介映像配信事業	附属病院の入院患者に対し、ベッドサイドテレビを通じて、4大疾病に対する予防や対策、各診療科の紹介映像などを配信する設備の整備	5,000
広報誌などの作成	学報、大学概要、大学案内、大学連合・大学マップの作成など、法人の情報を発信する各種広報誌を作成 (法人運営事業・その他医学科入試関係諸費の内数)	2,629
医大インターネット事業	学術研究に必要な情報収集などのため、学内LANやネットワークサーバなどの維持管理を実施	12,343
公開講座事業	「くらしと医学」をテーマに、広く県民を対象に講座を開催 開催日：平成23年9月10日、平成24年2月25日(予定) 場 所：橿原文化会館大ホール、文化会館国際ホール	1,037

大 学 部 門



教育・研究関係予算の概要

○人間性が豊かで高い実践能力を備えた医療人の育成のため、教育内容の質の向上、教育実施体制及び研究支援体制の充実を図る

1. 教育内容の充実

入学定員及び収容定員の推移

医学科	H19	H20	H21	H22	H23	H24
入学定員	95	100	105	113	113	113
収容定員	570	575	585	603	621	639
看護学科	H19	H20	H21	H22	H23	H24
入学定員	80	80	80	80	80	85
編入学定員	15	15	15	15	15	15
収容定員	350	350	350	350	350	355

※医学科については、H20緊急医師確保特別入学試験+5名、H21地域枠+5名、H22緊急医師確保特別入学試験+8名としている

合格者に占める県内出身者の割合

	H19	H20	H21	H22
医学科	25.26%	26.00%	33.33%	42.48%
看護学科	45.00%	50.00%	63.75%	62.50%

※(例)H22の欄はH21年度試験実施、H22年度入学をいう

1. 人間性豊かな医療人の育成

・人間性豊かな高い倫理観を有し、生涯にわたって自ら学び、高い実践能力を備えた医療人の育成に努める

(千円)

事業名	内容	予算額
医学科学生実験実習費	定員増に対応するため、医学科の実験・実習に必要な消耗品費、備品費などを増額 (+28,750千円)	50,805
医学科教育関係講師謝礼	定員増に対応するため、医学科の非常勤講師の報酬、交通費を増額 (+5,306千円)	22,223
教育用顕微鏡更新	基礎医学形態系実習室にある顕微鏡が老朽化しているため、平成22年度から3年間で計画的に更新	5,700
教育開発センター運営費	教育開発センターの運営に必要な経費	3,137
FD関係諸費	教員の授業評価や教育討論会、コンソーシアム(単位互換)に必要な経費	1,325
(新)CBT用サーバ更新事業	CBT(共用試験)に使用するサーバが老朽化により機能低下のおそれがあるため、機器更新を行う	1,100

2. 看護学科大学院開設など看護教育充実への対応

- ・平成24年度開設予定の看護学科大学院修士課程の開設準備を実施
- ・看護実践能力習得のための技術演習の強化など、保健師助産師看護師法の改正に伴うカリキュラム充実のための必要な施設・設備整備を実施
- ・平成24年度入学者から入学定員を5名増員するとともに、平成25年度から第3年次編入試験の入学定員を10名減員することに伴う設備整備を実施

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 看護学科大学院開設準備事業	大学院設置に必要な施設・設備整備などに要する経費	23,000
看護学科新カリキュラム対応設備・備品等更新事業	カリキュラム充実に必要な施設・設備整備経費	3,000

3. 地域医療に貢献する医療人の育成

- ・医師の「地域別・診療科別偏在化」に対する強い社会要請に応じて、平成20年度より医学科の入学定員を増員
- ・県からの補助金により地域医療学講座を設置し、地域医療に関する研究を行うとともに、研究成果をもとに公立病院やへき地への医師配置を検討

(千円)

事業名	内容	予算額
地域医療学講座事業費	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置(人件費及び研究費)	75,000
(新) 地域医療教育推進事業	県内で地域医療に従事しようとする医師を確保するため、県からの補助金を財源にメンター実習等を推進	4,390

4. その他教育の運営に関する経費

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 授業料減免制度の導入	経済的に困窮した学生を支援するため授業料減免制度を導入(運営費交付金で財源措置)	12,056
附属図書館運営諸費	電子ジャーナル、図書の購入など附属図書館の運営に要する経費(うち科研費間接費充当額 10,000千円)	64,145
特別講義	外部から著名な講師を招へいし、学生に対して実施する特別講義に必要な経費	554
オープンキャンパス事業	オープンキャンパスの開催、学生や教員による出前講座の実施に必要な経費	370
学生カウンセリング事業	学業、生活、将来等に対する学生の悩み、相談等に対して専門のカウンセラーを招へい	264

2. 研究実施体制の整備

科研費採択状況の推移

	H18	H19	H20	H21
採択件数(件)	96	113	123	116
採択率(件数)	35.3%	39.6%	41.1%	38.5%
採択金額(百万円)	186	221	190	173
採択率(金額)	27.1%	25.6%	25.2%	22.0%

外部資金の獲得金額の推移

(単位:百万円)

	H18	H19	H20	H21
科研費	186	221	190	173
受託研究等	230	321	307	318

1. 産学官連携の推進

- ・産学官連携推進センターを設置し、産学官での共同研究を推進する方策を検討
- ・本学の研究シーズ、ニーズを積極的に情報発信し、国内外との共同研究を推進

(千円)

箇所名	内容	予算額
(新) 知的財産管理事業	本学の研究成果として生み出された知的財産の権利を確保し、産学官連携に有効活用するための管理経費	3,344
産学官連携活動事業	(仮称)産学官連携コーディネータの設置、知的マネジメント委託、シーズ出展など産学官連携に必要な経費	14,554

2. 研究に必要な資金の確保

- ・競争的研究資金や寄附金の獲得など、研究に必要な資金を積極的に確保

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 寄附金獲得事業	寄附金の制度を広く一般にPRすることにより、新たな寄附金の獲得を目指す	230
大型プロジェクト資金獲得事業	効果的な応募に関する説明会開催など、大型プロジェクト等の競争的資金の獲得に向けた活動を実施	600
科学研究費補助事業	科学研究費間接費のうち、研究者使用分	16,079
医学科教員研究関係諸費	医学科講座研究費及び学会人当旅費	218,379
看護学科教員研究関係諸費	看護学科教員研究費及び学会人当旅費	16,050

3. 研究者への支援

・次代を担う人材を育成するため、若手研究者や女性研究者を支援

(千円)

箇所名	内容	予算額
(新) 高度な研究者による講演会	世界レベル・全国レベルの講演者を招へいし、本学全体の研究レベルの向上につながるテーマを選定し、講演会を開催	1,000
(新) 若手研究者への支援	若手の国際学会発表の機会を増大させ、国際的に活躍できる人材の育成のため、渡航費の一部を支援	400
(新) 女性研究者への支援	優れた研究を行っている女性研究者の表彰を行い、研究意欲を高め、将来を担う優秀な女性研究者を育成	350
特別講演事業	教室の枠を超えた全学的な範疇にわたる内容について、ハイレベルな学外からの情報知識を得ることにより、本学の学術研究のレベルアップを図る	1,050

4. 寄附講座の設置

(千円)

講座名	内容	予算額
(新) 人工関節・骨軟骨再生医学講座	寄附者：日本メディカルマテリアル株式会社 設置目的：人工関節及び人工骨頭材料の臨床研究、新しい人工関節材料と細胞治療を用いた再生医学との融合による有用な方法の開発 設置期間：平成23年度～25年度(3年間) 寄附総額：7,500万円	25,000
住居医学講座	寄附者：大和ハウス工業株式会社 設置目的：～住まいを医学する～をキャッチフレーズに、生活習慣病予防のため、「衣食住」のうち「住」について医学的にアプローチ 設置期間：平成18年度～23年度(6年間) 寄附総額：6億円	100,000
血栓制御医学講座	寄附者：バイエル薬品株式会社 設置目的：止血及び病的血栓形成のメカニズム解明、その制御(治療と予防) 設置期間：平成21年度～26年度(6年間) 寄附総額：1億8,750万円	37,500
血圧制御学講座	寄附者：万有製薬株式会社 設置目的：血圧における食塩と高血圧発症の影響を検討 設置期間：平成22年度～24年度(3年間) 寄附総額：6,000万円	18,500

5. その他の研究関係費

(千円)

箇所名	内容	予算額
総合研究施設運営関係費	総合研究棟の管理・運営にかかる委託費及び消耗品費や修繕費など総合研究施設運営に必要な経費	77,237
大学備品	総合研究棟に設置されている共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	13,000
(新) 先端医学研究機構年報及びパンフレット作成	本学の研究設備や研究成果を、企業や学生など、内外に広く伝えるため、年報やパンフレットを作成	804
機関リポジトリの運営(再掲)	知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムの運用に必要な経費(附属図書館運営諸費の内数)	1,529

3. 世界に通用する大学を目指して

国際交流協定大学			国内協定大学		
大学名	国名	締結年月	大学名	都道府県名	締結年月
チェンマイ大学	タイ王国	平成8年8月	同志社女子大学	京都府	平成19年6月
福建医科大学	中国	平成16年12月	早稲田大学	東京都	平成20年12月
オックスフォード大学	イギリス	平成20年4月	奈良先端科学技術大学院大学	奈良県	平成21年3月
ルール大学	ドイツ	平成22年4月			

国際交流受入実績

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21
研究者招へい	3	3	3	1
研究者派遣	3	3	5	8
留学生受け入れ	4	6	6	2
留学生派遣	10	4	4	4

1. 国際交流

- ・協定を締結している海外大学との連携強化を図るとともに、新たな交流協定の締結を検討

(千円)

事業名	内容	予算額
国際交流事業	交流協定を締結した海外の大学との研究者及び学生の派遣、受入に必要な経費	3,052
インドネシア人看護師受入事業	国が締結したインドネシアとの経済連携協定に基づいて実施している、看護師受入に必要な国家試験対策などの経費	916
ゲストハウス維持管理費	海外からの研究者などを受け入れるゲストハウスの維持管理に必要な経費	750

2. 国内大学との連携

- ・学術交流等の協定を締結している各大学との教員・学生の交流を推進
- ・早稲田大学との連携協定に基づき、医工連携の推進を検討
- ・奈良県大学連合における単位互換制度を利用した一般教育科目の履修カリキュラムを継続

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 早稲田大学連携推進事業	早稲田大学と共同作成した「新時代の地域医療創世のための全人的な総合医・医療専門職育成の革新的教育プログラム」に基づき、コンソーシアム実習など教員・学生の交流を実施	2,000
協定大学交流事業	学術交流に関する包括協定を締結している国内の大学との共同シンポジウム開催、院内コンサート招へいなどの交流を実施	400

4. 大学施設・設備の保全

大学主要施設の建築年

施設名	大学本館	一般教育校舎	基礎医学校舎	臨床講義棟	総合研究棟
建築年	昭和36年	昭和40年 (昭和53年増築)	昭和53年 (平成3年増築)	昭和39年 昭和56年	平成5年
施設名	臨床研究棟	看護学校舎	附属図書館	大講堂	体育館
建築年	昭和34年	昭和45年 平成8年	昭和54年	昭和44年	昭和49年

1. 老朽化した施設の改修

- ・大学施設については、老朽化が進行しており、緊急度の高い箇所について改修を実施
- ・学生アメニティ向上のため、トイレの洋式化などを計画的に実施

(千円)

箇所名	内容	予算額
基礎医学校舎吸収式冷温水発生機取替工事	運転開始より20年以上経過し、経年劣化により機能低下が進行しており、取替工事を行う	55,500
一般・基礎医学校舎トイレ改修工事	老朽化したトイレを改修し、便器の洋式化、電灯を人感センサー式にすることにより省エネ化を図る	11,000
附属図書館空調設備更新	老朽化により冷暖房効率が著しく低下した空調設備を更新	6,400
基礎医学校舎受水槽・高架水槽設備更新工事	経年劣化により亀裂が生じ、漏水事故が発生しており、水槽の更新を行うための設計を実施	3,500
総合研究棟セキュリティー設備更新	総合研究棟への入退室を管理する「入退室管理システム」を平成22年度よりリース方式により更新	3,182
附属図書館書架耐震対策	2階閲覧室及び書庫の書架について耐震対策を実施	600

2. 大学施設管理経費

(千円)

事業名	内容	予算額
光熱水費・燃料費	大学校舎、看護学校舎、臨床・基礎校舎、総合研究棟などの大学施設の冷暖房などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	128,563
庁舎管理委託費	清掃や設備の保守点検、警備など大学施設の管理にかかる各種委託	75,696
その他大学管理費	大学施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費など	13,910
附属図書館管理費	光熱水費や庁舎管理費など、附属図書館の施設管理に係る経費	6,790

附属病院部門



診療関係予算の概要

特定機能病院として、高度で先進的な医療、総合的で良質な医療の提供体制の充実を図る

患者サービスの向上や地域医療連携の充実など奈良県の中核病院としての機能強化を図る

医師臨床研修や看護師研修などの充実を図り、医療の質の向上に努め、県民から信頼される病院運営を行う

1. 附属病院の概要

(平成23年4月1日現在)

項目	内容
病床数	978床(一般病床 861床、感染病床 9床、精神病床 108床)
診療科	循環器・腎臓・代謝内科、呼吸器・血液内科、消化器・内分泌代謝内科、感染制御内科、神経内科、消化器・小児外科・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、整形外科、歯科口腔外科、産婦人科、眼科、小児科、精神科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・甲状腺外科、放射線科(画像診断・IVR)、放射線治療・核医学科、麻酔科、救急科、総合診療科
中央部門	中央臨床検査部、輸血部、中央手術部、集中治療部、中央放射線部、リハビリテーション部、中央内視鏡・超音波部、透析部、病院病理部、医療情報部、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、感染症センター、精神医療センター、腫瘍センター、緩和ケアセンター、治験センター、移植細胞培養センター、小児センター、メディカルバースセンター、ペインセンター、リウマチセンター、糖尿病センター、中央材料室、医療安全推進室、遺伝カウンセリング室、地域医療連携室
その他の組織	薬剤部、看護部、栄養管理部、臨床研修センター、医療技術センター
病院機能	特定機能病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、高度救命救急センター、第一種・第二種感染症指定医療機関、基幹型臨床研修病院、特定承認保健医療機関(高度先進医療)、エイズ中核拠点病院、精神科救急医療施設、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター

2. 安全で質の高い先進の医療を提供

患者数の推移

(単位:千人)

	H18	H19	H20	H21	H22
患者数	747.9	740.6	738.6	763.9	765.8
うち入院患者数	297.4	283.9	260.5	280.6	274.8
うち外来患者数	450.5	456.7	478.1	483.3	491.0

※H22は12月までの実績を元にした年間推計値である

ICU・CCU患者数

(単位:件)

	H18	H19	H20	H21	H22
年間件数	3,493	3,612	3,324	3,489	3,301

※H22は12月までの実績を元にした年間推計値である

周産期センター患者数及び分娩件数

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22
NICU	7,259	6,702	7,313	7,770	7,477
MFICU (PICU)	761	768	1,007	1,522	1,485
分娩件数	529	679	723	823	738
正常分娩	169	196	191	195	175
異常分娩・帝王切開	360	483	532	628	563

※H22は12月までの実績を元にした年間推計値である

※H20.5に総合周産期母子医療センター(母体・胎児集中治療部門、新生児集中治療部門)を設置

先進医療への届出件数

(単位:件)

	H18	H19	H20	H21	H22
当該年度の届出件数	1	2	4	1	1
届出件数累計	3	5	7	8	6

※H20は先進医療から保険適用替えが2件、H22は適用替えが2件、取り下げが1件ある

1. 高度で先進的な医療の提供

- ・一般の医療機関では実施することが難しい手術や高度で先進的な医療を実施
- ・高度先進医療の積極的な開発・提供を行う

(千円)

事業名	内容	予算額
都道府県がん診療連携拠点病院 関連経費(国庫補助事業)	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん 診療連携協議会、がん相談、院内がん登録などの諸事業 を実施	24,772
緩和ケアの充実	がん診療連携拠点研修会などの緩和ケアチームの活動経 費及び「まほろばPEACE緩和ケア研修会」開催経費	1,795
(新)がん専門医臨床研修事業関 連経費	若手医師をがん専門医師として育成するための研修を独 自に実施(H22までは国庫補助事業)	1,500

2. 医療提供体制の充実

- ・特定機能病院等本院の位置づけ、役割にふさわしい医療機器の整備を行う
- ・臨床工学技士の増員により、MEセンターの機能を充実させるとともに、医療機器の保守・点検業務の一元管理を推進する

(千円)

事業名	内容	予算額
医療用備品整備	県からの長期借入金を財源として、高度で先進的な機器など本院の役割にふさわしい医療機器などの充実を図る	650,000
	法人独自の財源により、リース方式などを活用し、更なる医療機器の充実を図る(購入額 3.5億円相当)	78,000
医療用機器等保守・修繕費	法令等で保守点検が規定されている機器や患者の生命に関わる機器などの保守点検委託費及び修繕費	373,228

3. その他の経費

(千円)

事業名	内容	予算額
治験センターの運営	臨床治験を積極的に推進するため、治験及び医薬品等製造販売後調査を管理する治験センターの運営経費	38,634
産科医療補償制度負担金	脳性麻痺等の出産に対する迅速な補償と出産に関わる医療従事者への訴訟リスクを軽減するため、産科医療補償制度へ引き続き加入	28,800
医師賠償責任保険	医療の高度化・複雑化に伴い増大している医療事故の発生リスクに対応し、患者への迅速な補償と医療従事者の負担軽減のため医師賠償責任保険に引き続き加入	19,126
医療安全推進費	医療安全の確保のため、医療安全に関する教育・啓発や転倒防止用具の整備などを実施	519

3. 奈良県の中核病院としての機能強化

紹介率の推移

	H18	H19	H20	H21	H22
紹介率の年平均	56.8%	62.1%	64.3%	67.6%	69.9%

※平成22年度は11月までの実績平均である

臨床研修医の推移

(単位:人)

	H18	H19	H20	H21	H22
臨床研修医(医科)	44	53	89	96	95

※各年度4月1日現在

1. 地域医療を支える医師の養成

- ・研修医のニーズに応じたきめ細やかなカリキュラムを作成することにより、研修医の満足度及び後期研修医としての継続勤務志向を高める
- ・臨床研修医等が研修に専念できるよう臨床研修センターの拡充等の体制整備や研修環境の改善等に取り組む

(千円)

事業名	内容	予算額
臨床研修医関連経費	臨床研修プログラムの充実、指導医向け講習会の開催、臨床研修医の確保のための情報提供など、臨床研修関連経費	7,741
臨床研修に係る負担金	協力型病院への臨床研修費国庫補助金の配分及び他院研修医の当院への受入にかかる給与等負担金	24,499
臨床研修センターの整備	個人デスク等の設置など臨床研修センターの施設・設備を充実	

2. 地域医療連携の充実

- ・地域医療連携をより一層推進するための体制の強化と他機関との連携を促進する
- ・地域医療機関の医療水準向上のため、最先端医療情報を提供するとともに、研修会等の開催支援を行う

(千円)

事業名	内容	予算額
地域医療連携推進事業	初診紹介患者予約診療、退院調整チームによる転退院調整、地域医療連携パスの実施、地域医療連携連絡協議会及び懇話会の開催、地域医療連携室だよりの発行など	2,131

4. 患者から信頼される病院の運営

病床稼働率・平均在院日数の推移

	H18	H19	H20	H21	H22
平均運用病床数	910	818	755	840	868
病床稼働率(対運用病床)	90.2%	94.4%	94.6%	91.7%	87.5%
平均在院日数	18.2	16.6	15.5	15.4	14.9

※H22は12月までの実績値である

※H19～H20については看護師不足により運用病床数が減少、またH22は手厚い看護体制の導入により病床稼働率が減少した

医薬・診療材料比率の推移

	H18	H19	H20	H21	H22見込
医薬材料費比率	46.3%	46.0%	45.6%	45.3%	43.3%
うち医薬品費比率	32.4%	33.0%	32.3%	33.0%	32.2%
うち診療材料費比率	13.9%	13.0%	13.3%	12.3%	11.1%
院外処方箋比率	7.5%	7.6%	7.4%	7.5%	7.7%

※H22は12月までの実績を元にした年間推計値である

1. 病院運営に必要な経費

- ・積極的な値引交渉や安価な物品への切替などにより、医薬・診療材料比率の改善を図る
- ・医療サービスの質を確保しつつ、外部委託の導入や委託業務等の仕様の見直し、一括契約、複数年契約などを検討し、経費の縮減を図る
- ・引き続き「声のポスト」や総合相談窓口等を通じて患者等の意見やニーズ把握に努めるとともに、患者の満足度の向上に向けた取り組みを推進する

(千円)

事業名	内容	予算額
医薬品費	診療に必要な医薬品の購入	8,231,659
診療材料費	診療に必要な診療材料の購入	3,013,900
給食材料費	入院患者給食の材料費 (新) 出産祝い食の提供(産科及びバースセンター)	185,463
医事委託費	外来部門の受付や料金計算、診療報酬請求業務などの医事業務の委託及び病棟などのベッドメイキング委託	343,945
病院関連委託費	貸与被服やタオルの洗濯、手術室の清掃、SPD業務、給食業務など、病院業務に関連する各種委託	363,192
臨床検査委託費	臨床検査のうち、当院で分析できないもの、件数が少なくコスト高になるものなどについて外部委託	227,190
在宅用機器賃借料	在宅酸素、人工呼吸器、持続陽圧呼吸療法など、在宅医療用機器の借り上げ料	123,599
病院関連借上費	医療機器・検査機器のリース料や病棟カーテンの借り上げ料など	21,828
総合医療情報システム運営事業 (電子カルテシステム)	電子カルテシステムの維持・管理に係る運用保守委託	218,302
(新) 病院経営分析事業	専門業者から助言や他院情報の提供を受け、現状に即した適切な診療科別収支を作成し、病院経営分析に活用	10,000
病院収入管理事業	患者の利便性向上のため、引き続きクレジットカードでの支払方法を提供し、患者サービスの向上を図る	6,824
(新) 患者満足度調査業務委託	患者に対し当院の評価をアンケート調査し、患者ニーズを把握 H23 入院患者に対するアンケート調査	242
その他病院運営経費	職員旅費、通信運搬費、日用品・事務用消耗品の購入経費など	84,023
光熱水費・燃料費	病院内の冷暖房や医療用機器の運転などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	461,689
庁舎管理委託費	病院内の清掃や医療機器以外の設備の保守点検、警備など病院庁舎の管理にかかる各種委託	345,203
その他病院管理費	病院施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費及び駐車場用地の借地代など	73,890

2. 診療報酬確保に向けた取組

- ・入院レセ全面内製化、請求精度アップ・チェック等体制強化に向けて、業務に精通した職員採用や専門的研修への派遣、自己啓発の推進など職員のスキルアップを図る
- ・総合医療情報システムやSPDデータなど各種関連データを有効活用して、経営分析等に有用な各種資料や指標の作成・検討を行い、診療報酬の確保に向けた取り組みを進める

(千円)

事業名	内容	予算額
診療情報管理事業	診療情報管理士及び補助員を配置し、DPCチェック、電子カルテの記述チェック、検査記録の登録などを実施し、請求漏れの防止等を図る	8,400
入院係直営化推進事業	入院部門の診療報酬請求について内製化を図るため、職員のスキルアップに必要な研修への参加経費の助成など	4,038
レセプト院内審査支援システム事業	レセプトチェックの機械化により業務の適正化、効率化を図り、診療報酬請求の精度向上に取り組む (新)H23「べてらん君コラボDPCⅡ」を追加購入	3,864
診療報酬請求強化対策事業	診療報酬請求を行う職員のスキルアップのための研修への参加経費の助成など	1,733
DPC分析ソフト保守委託(再掲)	他病院とのDPC別ベンチマーク比較などDPC分析業務を行い、診療報酬請求の適正化を図る	634
未収金対策事業	回収が困難となっている病院医療費の患者未収金について、債権回収会社への委託や法的措置等の手段を活用し、回収増を図る	6,219

5. 病院施設の整備

- ・利用者の視点に立った施設整備等の維持補修に取り組み、施設の利用環境の向上を図る
- ・各設備の性能維持のため定期的に保守点検を実施し、故障箇所は修繕等を実施する

(千円)

事業名	内容	予算額
(新)看護師宿舎及び臨床研修センターの改修	外部塗装による美観の向上と、看護師研修センターの整備など看護師宿舎の有効活用を図るとともに、臨床研修センターの機能を向上	256,700
(新)新棟整備関連アメニティ整備事業(再掲)	来院者の快適性を高めるため、病院施設の一部を改修 緑化、玄関照明の改善、サインの統一などの設計	24,800
患者アメニティ向上事業	外来診察室のスライド式ドアへの改善、老朽化したトイレの改修など、患者や職員のアメニティ向上のための施設整備を実施	34,000
A病棟乗用エレベーター改修	設置後29年を経過しているA病棟の乗用エレベーター2台についてリニューアル工事を実施	34,000
A病棟高架水槽更新	経年劣化が著しいA病棟の高架水槽について更新を行うための設計を実施	2,000
電波障害対策設備改善	地上放送デジタル化に伴い、A病棟の電波障害対策設備が不要となるため撤去するなど、電波障害対策設備の整理を実施	2,000